

2026年熊本選手権 熊日トーナメント 【ミッドシニアの部・レディスの部 第一戦】

開催日 : 2026年4月10日(金)
開催コース : トライアルゴルフ&リゾートASO COURSE

競技の条件

- 1、ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則と本競技の条件・ローカルルールを適用する。
- 2、競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し全ての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 3、競技終了時点
本競技は、委員会の作成した順位表に競技委員長が署名した時点をもって終了とする。

ローカルルール

- 1、アウトオブバンズの境界は白杭をもって標示する。
- 2、修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
プレーヤーの球がその区域内にある場合や、その区域がプレーヤーのスタンスや意図するスイングの区域の障害となる場合には規則16.1による救済を受けなければならない。
- 3、レッドペナルティエリアは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 4、乗用カート道の通路は、全幅をもってカート道とみなす。球がカート道路の上にあるか、スタンスがかかる場合、競技者はゴルフ規則16.1aの救済を受けることができる。
- 5、人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 6、コース内において、次のものは「動かさない障害物」とする。
(1)排水溝 (2)残ヤードを標示する (3)ガードレール (4)芝保護用敷物 (5)散水設備
- 7、カート道路沿いの裸地はその道路の一部とみなす。
- 8、樹木保護の為に巻物施設(巻網等)は、コースと不可分の部分とする。
- 9、使用クラブの規格 セクション8、ローカルルールひな型G-1適合ドライバーヘッドリストを適用。
- 10、使用球の規格 セクション8、ローカルルールひな型G-3適合球リストを適用。
- 11、ホールとホールの間での練習禁止 セクション8、ローカルルールひな型I-2を適用。
ハーフターン待ち時間の練習は「指定練習グリーン」のみとする。

12、プレーの中断と再開

(1)プレーの中断については、ゴルフ規則5.7に従って処置すること。

(2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中止となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいる時は、各競技者は委員会よりプレー再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。

1ホールのプレー途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。

競技者がすぐにプレーを中断しなかった時は、ゴルフ規則5-7bに決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

(3)プレーの一時中断と再開の合図について

プレー中断は、競技委員及びカートナビゲーションを通じて伝えられる。

プレーの再開は、競技委員及びカートナビゲーションを通じて伝えられる。

13、移動 競技者は正規のラウンド中、乗用カートに乗車・運転することが出来る。

14、悪天候や日没などにより、競技委員会の判断で短縮して競技が成立する場合もある。

15、乗用カートに備え付けのカートナビゲーションは使用できる。

注意事項

- 1、目的外のパッティンググリーンは「球が目的外のパッティンググリーン上にある場合やスタンスがかかる場合、競技者はゴルフ規則13.1fに基づいて救済を受けなければならない。
- 2、競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングエリアに掲示して告示する。
- 3、プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。尚、プレー進行を不当に遅らせた場合はペナルティを課す。
- 4、スタートの呼び出しは一切行わないので、スタート時間5分前までにはスターティングホール付近に待機すること。
- 5、コース内では携帯電話・スマートフォンの使用を禁止とする。
- 6、競技前日の練習は、アウト・インとも14時00分で打ち切る。
- 7、距離測定器の使用は認められるが、高低差表示及び音声が出ないようにしておくこと。
- 8、バンカー内のルースインペディメントは取り除くことが出来る。
- 9、地面にくい込んだ球の救済はジェネラルエリア全域で認められる。
- 10、救済を受ける場合、球の取り替えは常に許される。
- 11、球を探し始めて3分以内に見つけることが出来なかつたら紛失球となる。
- 12、ハーフ終了時休憩時間を設ける。
- 13、スコアの申告はカートナビを利用する。プレーヤーはラウンド後、スタート室より印字されたスコアカードに同伴者署名、競技者署名を行ないスコア提出エリアにてスコア提出を行うこと。

競技委員長 佐藤 新